

科目	ゼミナールⅡ(E)	担当	盧 聡明	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

ゼミナールⅡでは「国際市場」、「ベンチャー」、「起業」の三つの研究調査領域から、卒論の研究課題を抽出し、論文テーマと関連書類の作成を検討していく。卒論題目の確定と作成計画書、題目届書の完成を到達目標とする。

このゼミでは国内市場と海外市場を一つのグローバルな国際市場としてとらえ、このような国際市場において事業展開を行うグローバル企業とベンチャー企業の経営戦略を研究し、学習する。グローバル企業が世界中に分散立地させている複数の海外子会社(生産・販売・研究開発拠点など)の活動を有機的に組織化し、原材料・半製品・完成品の国家間移動を企業内貿易として工程化・システム化している。ベンチャー企業は自社の優位性と新規性が海外からも注目され、海外進出に挑戦している。どこの企業で働いても「国際視野」が不可欠な現在、ベンチャービジネスの要素を取り組んだ経営管理、組織のあり方、企業のグローバリゼーションを修得し、それによって個人が創造的な発想や異文化理解力を身につけてもらいたい。

【履修注意】

ゼミ生には明るく、前向きで、自由奔放且つ責任ある行動を望む。レジュメと発表資料の提出はレポートシステムより行うので、授業に出席する際、常時パソコンを持参すること。ゼミ生は「ベンチャービジネス論」講義の並行履修が望ましい。ゼミの期間中に、学生の希望により課外授業(地元企業施設の見学など)や合宿旅行を実施することがある。

【評価方法】

①出席状況、②発表報告の内容、③議論参加の積極性、④レポート試験の成績により総合的に評価する。

【試験について】

レポート試験を実施する予定。再試験は行わない。

【予習・復習】

予め決められた発表テーマの関連素材を週90分以上予習しておくこと。発表後やレポートシステムの教員コメントに従って、テーマ内容の理解を深める。

【教科書】

購入教科書なし。WBTやプリント教材を活用する。

【参考書】

書籍名:『よくわかる卒論の書き方』、著者:白井利明・高橋一郎、出版社:ミネルヴァ書房。
別途、卒論計画書に応じて、随時に参考文献を指示する。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	ゼミの開始にあたって	履修チェック、時間割表の作成、学事と発表日程の確認、就職に関する指導など
2	導論	パソコンの使いこなし方、題目届書の作成要領、卒論計画表など
3	夏休みレポートの発表①	発表、ディスカッション、相互評価
4	夏休みレポートの発表②	発表、ディスカッション、相互評価
5	夏休みレポートの発表③	発表、ディスカッション、相互評価
6	卒論題目検討と相談①	研究調査実施報告、ゼミでの学び方、個人面談・指導など
7	卒論題目検討と相談②	研究調査実施報告、ゼミでの学び方、個人面談・指導など
8	卒論題目検討と相談③	研究調査実施報告、ゼミでの学び方、個人面談・指導など
9	卒論の枠組みの作成と発表①	作成方法、プレゼンテーション、ディスカッション、教員コメントなど
10	卒論の枠組みの作成と発表②	作成方法、プレゼンテーション、ディスカッション、教員コメントなど
11	卒論の枠組みの作成と発表③	作成方法、プレゼンテーション、ディスカッション、教員コメントなど
12	進路指導	進路に関する面談、準備状況調査表、起業力アンケートなど
13	就職準備に関する調査	就職調査表、就職ナビ、就職の心構えなど
14	卒論構成の検証と見直し①	参考文献・データの確認、実施報告、個人面談・指導など
15	卒論構成の検証と見直し②	参考文献・データの確認、実施報告、個人面談・指導など
16	代表論文発表会への出席	講義の代わりに、2月上旬に実施する代表論文発表会へ出席する。